

JTA 公式トーナメント運用システム化に伴うルール変更点の概要

公益財団法人日本テニス協会
JPIN プロジェクトチーム
トーナメント委員会

1. JPIN プロジェクトについて

国際テニス連盟(ITF)が、大会の管理運営について全面的なIT化(IPIN)に踏み切ってから、すでに10年以上が経過しました。

これにより選手たちは、いまや世界のどこにいても、統一されたわかりやすいフォーマットで、簡単に大会にエントリーし、自分のランキング状況などを確認できるようになりました。そして、ここ数年の間に、アジアを含む世界各国の国内大会にも、大会管理・運営システムの導入が進み、各国で成果を上げています。

一方JTAは、公益財団法人として、JTA公式トーナメントに関する迅速かつ明瞭な実務処理とそれを支えるITインフラの整備についてリーダーシップを発揮すべく、2012年より「JPINプロジェクトチーム」を発足させました。以降、地域・都府県協会をはじめ、関係者・識者各位の多大なる協力を得ながら、システムやルールの在り方について、鋭意検討を進めてまいりました。

そして、平成26年度より、JTA公式トーナメントのうち、まず一般大会に関して、以下の概要でシステム化を実施する運びとなりました。

2. 平成26年度のシステム化範囲

平成26年度にシステム化される範囲は、JTA公式トーナメントのうち、一般大会のみです。平成26年度については、ジュニア大会、ベテラン大会は対象ではありません。

ジュニアとベテランについては、一般大会でのシステムの稼働状況みながら、具体的な検討を進める予定です。

3. JPINプロジェクトが目指すもの

JPINプロジェクトは、選手および大会主催者の双方にとってよりよい環境を提供すべく、以下の実現にむけて検討を進めてきました。

- 選手向けサービスレベルの向上
 - ◆ 選手向けポータルサイトの設置と大会情報の一元集約
 - ◆ 大会要項の記載フォーマット統一とウェブ閲覧化
 - ◆ 大会エントリー/ウィズドローのオンライン受付
 - ◆ エントリー料金のオンライン決済
 - ◆ エントリー締め切り前の暫定リスト公開
 - ◆ JTAランキングの週次更新化

- 大会運營業務の負担軽減とレベル向上
 - ◆ 大会運営ソフトウェア導入による運營業務の負担の軽減
 - ◆ 大会によってばらつきのある運營業務のレベル標準化
 - ◆ ランキング週次化をにらみ、大会結果の集計処理スピードアップ

4. 実施内容

上記2点の実現に向け、JTA公式トーナメントについて、以下のシステムを導入いたします。

(1) 選手向けウェブサイト

大会に出場する選手向けの各種サービスを提供するウェブサイト(ポータルサイト)を起ち上げます。(以下、このウェブサイトのことを、「選手向けウェブサイト」または、「選手ポータルサイト」といいます。)

選手向けウェブサイトで予定されている主な機能は以下の通りです。

- ◆ 大会スケジュール、選手情報の検索・閲覧
- ◆ オンラインでのエントリー/ウィズドロー ※1 一部大会を除く
- ◆ エントリー料のオンライン決済サービス(カード・コンビニ・ペイジー) ※2 任意
- ◆ 選手の登録情報の編集(住所、電話番号、所属先など)
- ◆ 過去出場したトーナメントの履歴
- ◆ ランキング情報の閲覧

※1 オンラインエントリーの導入範囲については、P8の「エントリー受付に関するルール適用範囲について」の項をご確認ください。

※2 オンライン決済の導入は任意となります。詳しくは、P3の「エントリー料金決済のオンライン化」の項をご確認ください。

(2) 大会運営用標準ソフトウェア「トーナメントプランナー」

大会会場にて主にレフェリー業務を行うのに利用するWindowsソフトウェアで、ITF大会をはじめ、世界各国のテニストーナメントの運営での豊富な利用実績があります。今回、JTAは、開発元のVisual Reality社と業務提携し、JTA公式トーナメント用に日本語化、機能カスタマイズを行っています。予定されている主な機能は以下の通りです。

- ◆ アクセプトランスリスト作成
- ◆ ワイルドカード設定
- ◆ シード選考
- ◆ ドロー作成・印刷
- ◆ オーダーオブプレイ作成・印刷
- ◆ 試合結果の入力
- ◆ 大会情報や日々の結果(要項、リスト、シード、ドロー)をウェブサイトへ自動反映